



2017 年 1 月 18 日

各 位

会 社 名 日立金属株式会社
 代表者名 執行役社長 高橋 秀明
 (コード番号 5486 東証第一部)
 問合わせ先 コミュニケーション部長 南 達也
 (TEL. 03-6774-3077)

子会社鋳造部門の会社分割（簡易吸収分割）を含む子会社再編に関するお知らせ

日立金属株式会社（以下、「当社」）は、当社の完全子会社である日立マグネットワイヤ株式会社（以下、「日立マグネットワイヤ」）の鋳造部門を会社分割（簡易吸収分割）の方法により当社へ承継させるとともに、日立マグネットワイヤを吸収合併消滅会社、当社の完全子会社である株式会社茨城テクノス（以下、「茨城テクノス」）を吸収合併存続会社とする当社完全子会社間の吸収合併を実施することを決定しましたので、お知らせします。

なお、当該会社分割は当社と当社の完全子会社との間の簡易吸収分割であるため、会社分割に関する事項については開示事項・内容を一部省略して開示しています。

1. 概要

1. 目的

現在、当社は、2018 年度中期経営計画において、高収益・高成長分野への集中と経営資源の効率運用を進めております。日立マグネットワイヤ及び茨城テクノスが属する電線材料カンパニーにおいても、成長分野と位置付けた鉄道・医療・自動車電装部品に積極的な成長投資を行うとともに、建設用電線、機器用電線などの基盤製品に関しても経営効率改善による収益性向上を図っています。

このような中、これまで日立マグネットワイヤは、電線の導体材料となる銅線の鋳造、製線を行い当社グループ内に供給するとともに、巻線等の電線製品を製造してきました。

今回の決定は、日立マグネットワイヤの事業のうち電線材料の開発・製造の根幹となる鋳造部門を当社と一体化することにより、電線材料におけるモノづくり力強化と新製品開発の加速を図るとともに、鋳造部門以外の事業については、同社と同じく茨城県日立市において電線製造を行う茨城テクノスに集約することで、事業効率の向上をめざすものです。

2. 内容

- (1) 日立マグネットワイヤの鋳造部門を当社へ会社分割（簡易吸収分割）の方法により承継（以下、「本吸収分割」）させます。
- (2) 日立マグネットワイヤ（鋳造部門を除く）を当社の完全子会社である茨城テクノスに吸収合併（以下、「本吸収合併」）させます。

3. 日程

本件の日程は以下のとおりです。なお、本吸収分割は、会社法第 796 条第 2 項に定める簡易吸収分割に該当するため、吸収分割の承認に関する当社の株主総会は開催しません。

吸収分割・吸収合併契約締結日	2017 年 1 月 18 日
吸 収 分 割 効 力 発 生 日	2017 年 4 月 1 日（予定）
吸 収 合 併 効 力 発 生 日	2017 年 4 月 1 日（予定）

4. 業績への影響

本件による当社連結業績への影響はありません。

II. 本吸収分割について

1. 本吸収分割の要旨

(1) 本吸収分割の方式

日立マグネットワイヤを吸収分割会社とし、当社を吸収分割承継会社とする吸収分割（簡易吸収分割）です。

(2) 本吸収分割に係る割当ての内容

本吸収分割は完全親子会社間で行われるため、当社は、株式の割当てその他の対価の交付を行いません。

(3) 本吸収分割に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

(4) 本吸収分割により増減する資本金

当社の資本金の増減はありません。

(5) 承継会社が承継する権利義務

当社は、本吸収分割に際して、効力発生日における鋳造部門に関する資産及び鋳造部門に付随する権利義務のうち、吸収分割契約において定めるものを承継します。

(6) 債務履行の見込み

当社は、負債を承継しないため、本吸収分割後も債務の履行に支障を及ぼすことはありません。

2. 本吸収分割の当事会社の概要

	吸収分割会社 (日立マグネットワイヤ)	吸収分割承継会社 (当社)
(1) 名称	日立マグネットワイヤ株式会社	日立金属株式会社
(2) 所在地	茨城県日立市川尻町四丁目 10 番 1 号	東京都港区港南一丁目 2 番 70 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 取締役社長 栗山 勝	代表執行役 執行役社長 高橋 秀明
(4) 事業内容	電線用導体、巻線等の製造販売	高級金属製品、磁性材料、高級機能部品、電線材料の製造と販売
(5) 資本金	300 百万円 (2016 年 3 月末日現在)	26,284 百万円 (2016 年 3 月末日現在)
(6) 設立年月日	1947 年 7 月	1956 年 4 月
(7) 発行済株式数	6,000,000 株 (2016 年 3 月末日現在)	428,904,352 株 (2016 年 3 月末日現在)
(8) 決算期	3 月末日	3 月末日
(9) 大株主及び持株比率	日立金属株式会社 100% (2016 年 3 月末日現在)	株式会社日立製作所 52.75% (2016 年 3 月末日現在)
(10) 吸収分割会社の直近事業年度の経営成績及び財政状態 (2016 年 3 月期、日本基準)		
	純資産	2,319 百万円
	総資産	14,178 百万円
	1 株当たり純資産	386.4 円
	売上高	42,780 百万円
	営業利益	1,358 百万円
	経常利益	1,389 百万円
	当期純利益	960 百万円
	1 株当たり当期純利益(円)	160.0 円
(11) 吸収分割承継会社の直近事業年度の経営成績及び財政状態 (2016 年 3 月期、連結・IFRS)		
	資産合計	1,033,311 百万円
	資本合計	504,675 百万円
	1 株当たり親会社所有者帰属持分	1,159.70 円
	売上収益	1,017,584 百万円
	調整後営業利益*	76,061 百万円
	税引前利益	96,233 百万円
	親会社の所有者に帰属する当期利益	69,056 百万円
	基本的 1 株当たり当期利益(円)	161.50 円

* 調整後営業利益は、売上収益から、売上原価並びに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標です。

3. 承継する事業部門の概要

(1) 承継する部門の事業内容

電線導体用材料の鋳造

(2) 承継する部門の経営成績 (2016 年 3 月期、日本基準)

承継する事業の売上高 (A)	当社単体の売上高 (B)	比率 (A/B)
22, 011 百万円	441, 103 百万円	5. 0%

(3) 承継する資産、負債の項目及び帳簿価額 (2016 年 3 月期)

資 産		負 債	
項 目	帳簿価額	項 目	帳簿価額
流動資産	543 百万円	流動負債	—
固定資産	260 百万円	固定負債	—
合 計	803 百万円	合 計	—

(4) 本吸収分割後の状況

吸収分割会社 (日立マグネットワイヤ)

① 名 称	日立マグネットワイヤ株式会社
② 所 在 地	茨城県日立市川尻町四丁目 10 番 1 号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 取締役社長 栗山 勝
④ 事 業 内 容	電線用導体、巻線等の製造販売
⑤ 資 本 金	300 百万円 (2016 年 3 月末日現在)
⑥ 決 算 期	3 月末日

日立マグネットワイヤは、本吸収分割の効力発生日と同日に効力が発生する茨城テクノスとの本吸収合併により消滅予定です。

吸収分割承継会社 (当社)

① 名 称	日立金属株式会社
② 所 在 地	東京都港区港南一丁目 2 番 70 号
③ 代表者の役職・氏名	代表執行役 執行役社長 高橋 秀明
④ 事 業 内 容	高級金属製品、磁性材料、高級機能部品、電線材料の製造と販売
⑤ 資 本 金	26, 284 百万円 (2016 年 3 月末日現在)
⑥ 決 算 期	3 月末日

以 上

(参考)

茨城テクノス会社概要

① 名 称	株式会社茨城テクノス
② 所 在 地	茨城県日立市日高町五丁目 1 番 1 号
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役 取締役社長 中谷 渉
④ 事 業 内 容	電線接続部品等の製造販売
⑤ 資 本 金	100 百万円 (2016 年 3 月末日現在)
⑥ 決 算 期	3 月末日

本吸収合併は、会社法第 796 条第 2 項に定める簡易吸収合併に該当するため、吸収合併の承認に関する茨城テクノスの株主総会は開催しません。

本吸収合併は、完全子会社間で行われるため、茨城テクノスは株式の割当てその他の対価の交付を行いません。

当期連結業績予想 (2016 年 10 月 27 日公表分) 及び前期連結実績

(単位: 百万円)

	売上収益	調整後営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益
当期連結業績予想 (平成 29 年 3 月期)	880, 000	67, 000	63, 000	45, 000
前期連結実績 (平成 28 年 3 月期)	1, 017, 584	76, 061	96, 233	69, 056